

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成 22 年 3 月
高岡市(富山県)

ポイント

計画期間;平成 19 年 11 月～平成 24 年 3 月(4 年 5 ヶ月)

1. 概況

平成 19 年 11 月に、高岡市中心市街地活性化基本計画の認定を内閣総理大臣から受けた。平成 21 年に開町 400 年の節目の年を迎え、多彩なイベントが繰り広げられた。

高岡市の玄関口である JR 高岡駅の周辺整備事業では、平成 20 年 12 月に高岡駅交通広場都市計画決定を行い、平成 21 年 12 月には高岡駅橋上駅舎の一部供用を開始した。今後は、氷見線移設事業や南北自由通路整備事業を進めていく。

歴史・文化資産の活用では、平成 19 年に高岡大仏保存修理事業及び高岡大仏観光バス駐車場整備事業が完了し、団体客の拝観が増えている。また、高岡古城公園整備事業、山町筋重要伝統的建造物群保存修理事業、金屋町鋳物資料館運営事業等、高岡の歴史・文化資産を活かしたまちづくりを進めたことにより、本市を訪れる観光客が増加し、事業効果が現われている。

まちなか居住の推進では、高岡駅南地区において 2 棟の集合住宅の建設が行われたものの、共同住宅支援事業など中心市街地への居住を誘発する民間主体の事業が景気低迷等の理由から進まず、人口増加には至っていない。

中心市街地の賑わい創出では、大規模商業施設である高岡サティが平成 21 年 1 月に閉店し、現在、リーシング会社によって建物を含む跡地利用について新たな出店交渉が行われている。平成 20 年に空き店舗対策として創設した開業支援事業を活用した新規店舗の開業が進んでいるほか、富山大学芸術文化学部の教員・学生の作品などを展示する駅地下芸文ギャラリーや、図書館や生涯学習センターなどの公共施設と飲食・ホテルなどの民間施設が入所するウイング・ウイング高岡の運営効果、中心市街地での賑わい創出イベントの開催効果等により、空き店舗の減少に繋がっている。

事業進捗状況

総事業 89 事業のうち、22 事業が完了、59 事業が実施中、8 事業が未実施の状況である。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (年)	目標値 (H23fy)	最新値 (H21fy)	見通し
歴史・文化資産の活用によるまちなか交流人口の拡大	主要観光施設における観光客入込み数	97 万人 (H18)	122 万人 (H23)	147 万人 (H21)	
まちなか居住の推進	中心市街地における居住人口	17,597 人 (H19)	17,800 人 (H24)	16,749 人 (H21)	
中心商店街の賑わいの創出	中心商店街(6 地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	11,300 人 (H18)	13,500 人 (H23)	9,577 人 (H21)	
	中心商店街(4 商店街)における空き店舗数	46 件 (H19)	37 件 (H23)	28 件 (H21)	

注) :取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
:取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能と見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
:取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能とは見込まれ、引き続き最大限努力していく。
:取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
:取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

「主要観光施設における観光客入込み数」

高岡大仏保存修理及び高岡大仏観光バス駐車場整備が完了し、高岡大仏への拝観者数が順調に伸び、開町 400 年事業等の効果により、高岡古城公園への来場者も増加している。平成 20 年 7 月の東海北陸自動車道全線開通や、従前から取り組んでいる富山県西部・飛騨・能登地域との広域観光連携の効果により、本市を訪れる観光客も増えており、今後も広域各地の特長を組み合わせた独自の観光事業を展開することにより更なる増加が期待され、目標達成が可能と見込まれる。

「中心市街地における居住人口」

居住人口の減少は続いているが、まちなか居住支援事業や共同住宅支援事業の利用促進を図るため、市民意向調査や関係業者との意見交換などを行うとともに、ホームページ等の PR 方法の見直しに取り組むことで、目標達成に向け、引き続き最大限努力していく。

「中心商店街(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値」

開業支援事業やイベントの開催など賑わい創出に取り込んだ効果で、平成 20 年は通行量が順調に伸びたが、平成 21 年は減少に転じている。休日の調査日が降雨や強風であったことが、減少の要因と考えられる。中心商店街に近い高岡大仏や高岡古城公園の観光客数が増加していることから、この観光客の足が商店街に向くよう、開業支援による魅力的で集客力のある店舗の開業促進や、商店街の回遊性を創出するための仕掛けづくりを図ることで、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

「中心商店街(4商店街)における空き店舗数」

新規開業者への店舗改装、家賃支援を行うことで中心市街地での開業が進み、現時点で空き店舗数減少の目標値を達成しており、目標達成が可能と見込まれる。

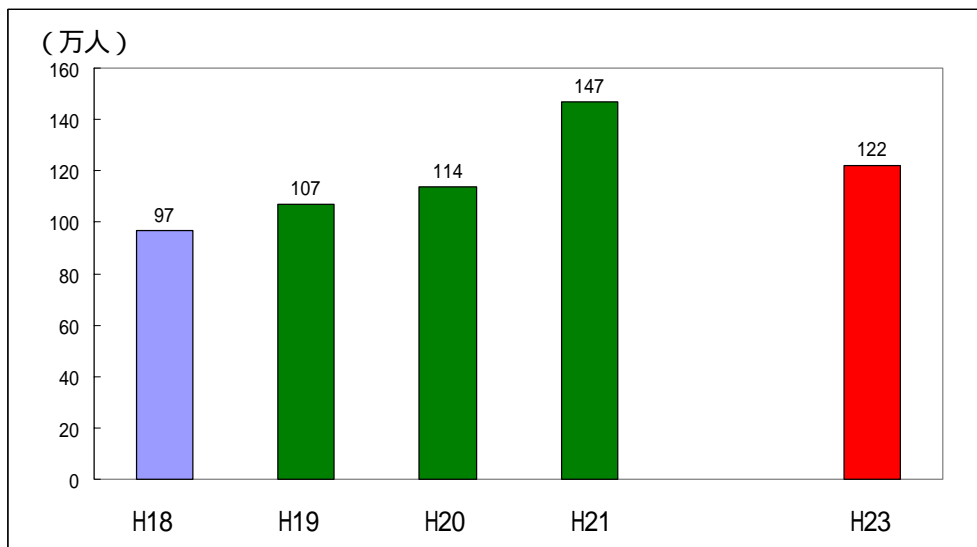
4. 今後の対策

目標値の達成が順調でない「中心市街地における居住人口」及び「中心商店街における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値」の達成はもとより、目標値を満たしている「主要観光施設における観光客入込み数」及び「中心商店街における空き店舗数」においても目標値を下回らないよう注意しながら、今後とも基本計画掲載事業を積極的に推進することで、基本計画の目標達成を図る。

目標「歴史・文化資産の活用によるまちなか交流人口の拡大」

「主要観光施設における観光客入込み数(人)」 目標設定の考え方基本計画 P43～P50 参照

1. 調査結果の推移



年	万人
H18	97 (基準値)
H19	107
H20	114
H21	147
H22	
H23	
H23	122 (目標値)

調査対象: 古城公園、瑞龍寺、高岡大仏、山町筋(菅野家、土蔵造りのまち資料館)、金屋町(鋳物資料館)

調査主体: 各施設

調査月: 年調査(1月～12月)

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

高岡開町400年記念事業(高岡開町400年記念イベント実行委員会)

事業完了時期	[済]平成21年度
事業概要	平成21年に高岡開町400年を迎えることから、記念事業を開催する。
事業効果又は進捗状況	様々な記念事業やPRを実施し、観光客入込み数の増加に繋がっている。開町400年である平成21年は、記念イベントと関連イベントを合わせ、入場者数は83万7千人に達した。

瑞龍寺ライトアップ事業(各会ごとに実行委員会を組織)

事業完了時期	[実施中]平成12年度～
事業概要	「瑞龍寺100万人構想」のもと、瑞龍寺のライトアップを行う。
事業効果又は進捗状況	従来の夏のライトアップ期間の延長と冬のライトアップ開催などにより、3年間で11万6千人の来場者増加に繋がっている。

高岡大仏観光バス駐車場整備事業(高岡市)

事業完了時期	[済]平成19年度
事業概要	日本三大仏・高岡大仏への団体観光客の増大及び滞留時間の延長を図るため、高岡大仏近隣に観光バス専用の無料駐車場を整備する。
事業効果又は進捗状況	高岡大仏の来訪者が3年間で2万人増加し、観光客入込み数の増加に繋がっている。

観光バス市営駐車場料金補助事業(高岡市観光協会)

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	大型バスが駐車可能な市営駐車場を利用する観光バス事業者に対し、利用料金の助成を行う。
事業効果又は進捗状況	中心市街地の滞在時間の延長に繋がり、観光客入込み数の増加に繋がっている。

高岡大仏保存修理事業(大仏寺)

事業完了時期	【済】平成 19 年度
事業概要	高岡市指定文化財「銅造阿弥陀如来座像(高岡大仏)」の劣化が進んだことから保存修理事業を実施する。
事業効果又は進捗状況	高岡大仏の来訪者が 3 年間で 2 万人増加し、観光客入込み数の増加に繋がっている。

山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(山町筋住民など)

事業完了時期	【実施中】平成 13 年度～
事業概要	山町筋重要伝統的建造物群保存地区内において、伝統的な土蔵造りの町並みを保存するため、伝統的建造物の修理事業及び非伝統的建造物の修景事業等を実施する。
事業効果又は進捗状況	年 5 件程度の修理・修景を実施している。山町筋の観光客数は 3 年間で約 5 千人増加している。

高岡市鋳物資料館運営事業(高岡市)

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	高岡鋳物発祥の地である金屋町において、市内の鋳物に関する資料を収集・展示する「鋳物資料館」を設置・運営する。
事業効果又は進捗状況	高岡鋳物関連施設として平成 19 年 4 月に開設。年間約 4 千人の来場者を迎えている。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・主要観光施設における観光客入込み数は、主な事業が予定通り進捗したことや開町 400 年記念事業の効果により、平成 18 年度の基準値より 50 万人の増加となった。
- ・日本三大仏である高岡大仏の保存修理や高岡大仏観光バス駐車場の整備により、高岡大仏の参拝者が増加し、山町筋重要伝統的建造物群の修理・修景事業をはじめ、高岡鋳物発祥の地・金屋町での鋳物資料館開設、国宝・瑞龍寺のライトアップ事業と、高岡の歴史的・文化的資産を整備・活用することで、観光客が予定通り増加している。
- ・主要事業の順調な推移に加え、平成 20 年 7 月の東海北陸自動車道全線開通にあわせ、JR 名古屋駅前での観光 PR など中京方面に向けた積極的な広報活動や高速バスへの支援等に取り組み、観光客の増加に努めているところである。
- ・「近世高岡の文化遺産群」の取り組みでは、文化庁の審議結果では日本の暫定一覧表の掲載とはならな

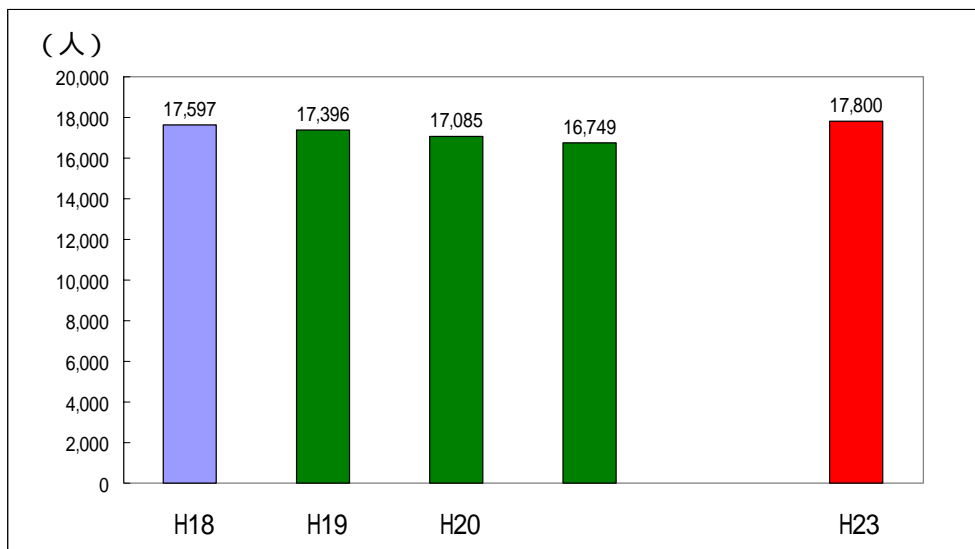
かった。しかし、世界文化遺産暫定一覧表候補の文化遺産と評価されたことから、「世界文化遺産をめざす高岡市民の会」では世界文化遺産登録に向け引き続き活動を行っている。

・まちなか交流人口の拡大につながる取り組みとして前述の「世界文化遺産をめざす高岡市民の会」や、「瑞龍寺ライトアップ実行委員会」等、全市的な取り組みや各イベントの実行委員会が設置されており、官民一体となり中活計画に記載された事業に取り組んでいる。引き続き計画の着実な実施を進めることで、目標の達成は可能である。

目標「まちなか居住の推進」

「中心市街地における居住人口(人)」(目標設定の考え方基本計画 P51～P54 参照)

1. 調査結果の推移



年	人
H18	17,597 (基準値)
H19	17,396
H20	17,085
H21	16,749
H22	
H23	
H23	17,800 (目標値)

調査対象: 平米地区、定塚地区、下関地区、博労地区、川原地区、成美地区、横田地区、西条地区の中心市街地活性化基本計画エリア内住人

調査主体: 住民基本台帳

調査月: 毎年度3月末

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

まちなか住宅取得支援事業(高岡市)

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	高岡市が認定した「まちなか居住区域」で、家屋の新築、建売やマンションの購入を行う個人に対し、借入金額の5%(限度額 100 万円)補助を行う。
事業効果又は進捗状況	平成 19 年度～平成 21 年度までに 33 件の利用実績があるが、目標見込み数まで届かず、人口の増加に繋がっていない。

まちなか共同住宅建設促進事業(高岡市)

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	高岡市が認定した「まちなか居住区域」で、一定要件を踏まえた 4 戸以上のアパート・マンション等を建築した者に対し、1 戸あたり 100 万円(限度額 5,000 万円)の補助を行う。
事業効果又は進捗状況	市広報紙やホームページでの情報発信及び不動産業者への事業周知を行っているが、現在利用実績がない状態である。周知方法を検討し、事業PRに努めていく。

まちなか優良賃貸住宅補助事業(高岡市)

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	高岡市が認定した「まちなか居住区域」で、国の地域優良賃貸住宅制度(高

	<p>齢者向け優良賃貸住宅又は特定優良賃貸住宅)を利用したアパート・マンション等を建築した者に対し、1戸あたり50万円(限度額3,000万円)の補助を行う。</p>
事業効果又は進捗状況	<p>市広報紙やホームページでの情報発信及び不動産業者への事業周知を行っているが、現在利用実績がない状態である。周知方法を検討し、事業PRに努めていく。</p>

大手町地内中心市街地共同住宅供給事業(アラヤ興産株)

事業完了時期	【未】平成21年度
事業概要	高岡市大手町地内において、民間事業者が自社所有地において集合住宅(22戸)の整備を行う。
事業効果又は進捗状況	景気低迷により事業実施に至っていない。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

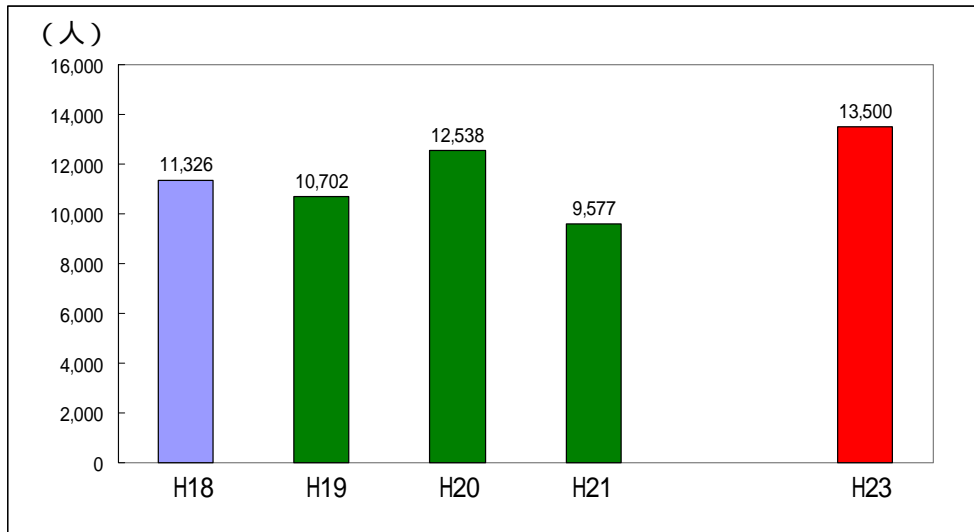
- ・中心市街地における居住人口は、主な事業が予定通り進んでいないことから、人口減少に歯止めが効かない状況である。
- ・JR高岡駅南地域では、平成20年に分譲マンションが2棟相次いで完成・完売の状態であり、主要公共交通機関の周辺部では住宅需要が生じていることをうかがわせる。
- ・今後は、市民意向調査や関係業者との意見交換などを行うとともに、ホームページ等のPR方法の見直しに取り組むことで、支援事業の周知を図り、中心市街地での居住支援を推進する。

目標「中心商店街の賑わい創出」

A 中心商店街(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値(人)

(目標設定の考え方基本計画 P55 ~ P64 参照)

1. 調査結果の推移



年	人
H18	11,326 (基準値)
H19	10,702
H20	12,538
H21	9,577
H22	
H23	
H23	13,500 (目標値)

調査対象: 駅前地下街、末広町通り(東・西)、御旅屋通り、高の宮通り、末広坂通り

調査主体: 高岡市商業観光課「歩行者通行量調査」

調査月: 10月

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

(仮称)末広町電停整備事業(万葉線株)

事業完了時期	【済】平成 19 年度
事業概要	万葉線の利便性向上のため、中心市街地の中心部に新たな電停を整備する。
事業効果又は進捗状況	中心商店街の中心部に電停を整備したことで、まちなかへの利便性が高まっている。

(仮称)わろんが横丁整備事業(末広開発株)

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	中心商店街活性化センター「わろんが」の向かいにある空き店舗において、ものづくり系のチャレンジショップを開設し、賑わいの拠点づくりとする。
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度の開設に向け、市と末広開発株で事業内容を検討していく。

中心商店街活性化センター「わろんが」運営事業(高岡市、指定管理者:末広開発株)

事業完了時期	【実施中】平成 18 年度 ~
事業概要	主に中高年層を対象とした商品の販売や講座、イベントの開催等を行い、中心市街地における賑わい拠点施設を運営する。
事業効果又は進捗状況	平成 18 年 4 月オープン。カフェ機能を持つギャラリーとして、各種作家の展覧会を実施し、また、地場産品等の販売市やそばイベントなどのソフトイベ

	ントを店舗前の商店街通りに展開し、中心市街地の活性化に寄与している。
--	------------------------------------

工房「手わざ」運営事業(未広開発株)

事業完了時期	【実施中】平成 15 年度～
事業概要	未広町商店街内で、伝統的工芸品の高岡銅器の彫金技術を公開する工房を運営する。
事業効果又は進捗状況	平成 16 年 3 月に開設。彫金職人の実演を見学でき、ものづくりのまち高岡の技術を市民や観光客にPRする場として運営している。

まちなかギャラリー事業(未広開発株)

事業完了時期	【実施中】平成 18 年度～
事業概要	未広町通り、御旅屋通りの各商店のショーウィンドウを活用し、国指定伝統的工芸品である高岡銅器・高岡漆器を中心とした作品の展示を行い、ものづくりのまちの雰囲気を醸成する。
事業効果又は進捗状況	平成 18 年 10 月から事業を開始。ものづくりのまち高岡のイメージ創出に寄与している。

駅地下芸文ギャラリー運営事業((協)高岡ステーションデパート)

事業完了時期	【実施中】平成 18 年度～
事業概要	JR高岡駅前地下街において、富山大学芸術文化学部との連携により、大学の教官や学生等が企画・立案した企画展の開催や高岡発の新商品の展示・販売等を行う。
事業効果又は進捗状況	平成 19 年 4 月に開設。富山大学在学学生や卒業生などによる作品展示や販売などの企画展、小学生を対象にしたワークショップや一般参加の座談会などの文化活動にも取り組み、年間 8 千人が訪れている。

市営オタヤグリーンパーキング設置事業(高岡市)

事業完了時期	【済】平成 19 年度
事業概要	第三セクター・オヤタ開発が所有する大型駐車場を公有化することで、中心市街地に立地する他の市営大型駐車場との回数券の共通化等を可能とし、利便性を高める。
事業効果又は進捗状況	市営とすることで、高岡市営駐車場共通の回数駐車券を活用でき、また中心市街地でのネットワーク的な利用も可能になるなど、中心市街地活性化に効果がある。また、駐車時間 20 分以内を無料化することで利用率向上に取り組んでいる。

ウイング・ウイング高岡運営事業(未広開発株、富山県、高岡市)

事業完了時期	【実施中】平成 16 年度～
--------	----------------

事業概要	JR高岡駅前において、公共公益施設・ホテル・飲食・業務による複合施設の運営を行う。
事業効果又は進捗状況	平成16年4月に開設。ウイング・ウイング高岡に近い末広町西側の通行量増加に寄与している。

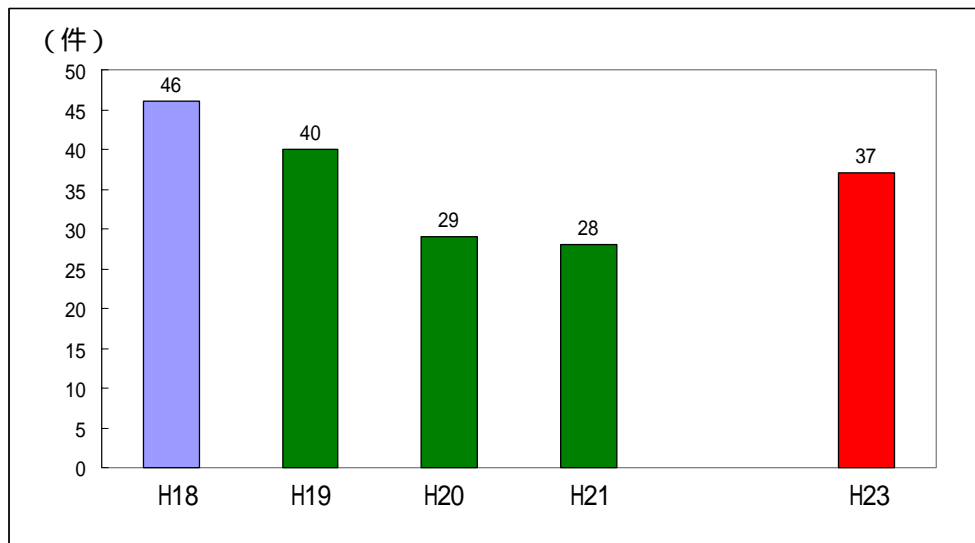
3. 数値目標達成の見通し及び今後の対策

- ・中心商店街(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値は、平成21年は前年比約3千人の減少となった。これは調査日の天候が雨天で強風だったことの影響と考えられる。ウイング・ウイング高岡の来場者数が増加していることや商店街の近くにある高岡大仏の参拝客が増加していることから考えると、通行量は減少していないと認識している。
- ・平成20年は平成18年の基準値から約1,200人の増加となった。これは、中心市街地活性化基本計画の認定を受け、「駅地下芸文ギャラリー」、図書館・生涯学習施設などの公共施設と飲食などの民間施設が入居する「ウイング・ウイング高岡」、中心商店街活性化センター「わろんが」などの主な事業を着実に実施していることによると考える。
- ・平成16年のウイング・ウイング高岡開設以来、この施設に面する末広町商店街の通りは通行量が年々増加している。また、高岡駅地下通りでは、駅地下芸文ギャラリーが開設し、年間約8千人が訪れることで、駅地下通りの通行量増加に繋がっている。
- ・市、まちづくり機関、商工会議所等が連携し、地元若手作家のクラフト作品を販売するショップや、地場産品を販売する土産物店など、相次ぐ新規開業を行っている。中心市街地活性化基本計画に記載されている事業に縛られることなく、中心市街地の実態により即応する事業を組み立て、魅力的で賑わいのある商店街の形成を図っている。
- ・今後は、JR北陸本線で分かれている南北市街地をつなぐ高岡駅南北自由連絡通路が平成23年度に完成することから、通行量の増加が期待できる。また、中心商店街に近い高岡大仏や高岡古城公園の観光客数が増加していることから、観光客が商店街を訪れる仕掛けづくりを図ること、そして、空き店舗への開業支援や、ウイング・ウイング高岡や百貨店等の集客能力の高い施設から商店街への回遊性の向上を図ることにより商店街の賑わいを創出し、数値目標の達成に努める。

B 中心商店街(4商店街)における空き店舗数(件)

(目標設定の考え方基本計画 P64～P67 参照)

1. 調査結果の推移



年	人
H18	46 (基準値)
H19	40
H20	29
H21	28
H22	
H23	
H23	37 (目標値)

調査対象: 未広町通り、御旅屋通り、未広坂通り、高の宮通り

調査主体: 高岡市商業観光課・未広開発(株)「空き店舗調査」

調査月: 10月

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

中心市街地における開業支援事業(高岡市)

事業完了時期	【実施中】平成 23 年度
事業概要	中心市街地における特徴あるまちづくりを推進するため、地域に応じた業種による開業を支援する。空き店舗を活用する開業者への家賃補助と改装補助、空き店舗の所有者への改修補助等を行い、新規開業を促進する。
事業効果又は進捗状況	平成 20 年度に開業支援制度を見直し支援メニューを増やしたことで、2 年間で 20 事業者が新規開業に活用し、空き店舗の減少に繋がっている。

中心商店街活性化支援センター「わろんが」運営事業(高岡市、指定管理者: 未広開発(株))

再掲P8参照

3. 数値目標達成の見通し及び今後の対策

- ・中心商店街(4商店街)における空き店舗数は、平成 20 年度から開業支援制度を見直したことにより、4 商店街では9事業者がこの支援制度を活用し、新規開業者を誘引することができた。また、廃業した店舗が住宅に整備されたことや駐車場が2か所整備され、目標値を超える店舗の減となった。
- ・現在、目標値は達成したものの、今後の景気状況等により空き店舗の減少が一時的となる可能性もあることから、引き続き開業相談や開業支援事を行い、中心市街地の賑わい創出に取り組むことにより、この効果の持続を図りたい。